

[1 - A - 0 1] サイクルアンドバスライド

分類	TDM（交通需要マネジメント）
細分類	パークアンドライド
実施主体	相模原市
実施時期 （期間）	平成3年度～
対象地域	市内バス停留所10箇所
実施段階	継続中
実施目的	本市ではバス利用者がバス停留所に自転車を駐車してバスに乗車し、駅等に向かうという交通特徴が見受けられることから、バス交通の利便性を高め、放置自転車を削減し歩行者の安全を確保することを目的に、バス停留所・バスターミナル周辺へ専用自転車駐車を整備する。
コスト及び 財源	一般財源 無料自転車駐車場維持管理費：3,031万円（R5）（市内バス停留所10箇所を含む、市内全15箇所の無料自転車駐車場に係る維持管理費）
実施概要	<p>【整備箇所】</p> <p>①二本松バス停留所（道路用地 30台） ②水郷田名バス停留所（民間用地 24台） ③田名四ツ谷バス停留所（民間用地 15台） ④内出バス停留所（道路用地 42台） ⑤上大島バス停留所（民間用地 40台） ⑥磯部バス停留所（民間用地 44台） ⑦下九沢団地バス停留所（民間用地 13台） ⑧下溝バス停留所（市有地 30台） ⑨城山総合事務所入口バス停留所（市有地 52台） ⑩田名バスターミナル停留所（道路用地 168台） 合計 市内10箇所 458台</p> <p>【利用の考え方】 利用は自転車を対象とし、利用料金は無料とする。</p> <p>【整備内容】 原則的に簡易な工事とし、ライン引き、転倒防止柵、案内看板の設置等を行う。</p>
実施結果	<ul style="list-style-type: none"> ・バス停留所周辺の放置自転車が解消され、自転車駐車場に集約された。 ・バス折返し所を中心に整備したことにより、利用者にとって利便性の高いバスと自転車の結節点となっている。 ・今後も必要に応じて、新規設置のほか、既存施設の老朽化への対応などを含め、総合的な対応が求められる。
その他 課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・バスシステムの統合や廃止等に伴う需要の変化に対応していく必要がある。 ・用地確保が難しく、整備可能なバス停留所が限られる。 ・既存施設の老朽化に対応する必要がある。
類似事例	
連絡先	相模原市 都市建設局 土木部 路政課 042-769-8258
備考	

[1-A-02] サイクルアンドバスライド

分類	TDM（交通需要マネジメント）				
細分類	パークアンドライド				
実施主体	平塚市				
実施時期 （期間）	平成6年10月～実施中				
対象地域	平塚市内バス停付近13箇所				
実施段階	実施中				
実施目的	公共交通不便地域の解消と公共交通との連携を図るため、出発地点からバス停まで自転車で行き、バス停付近の駐輪場に自転車をとめ、バスに乗り換え目的地に向かうシステムとして、道路残地等を活用し地域住民の利便性向上のため駐輪場を整備した。				
コスト及び 財源	道路改良工事、河川改修工事等に併せた整備				
実施概要	<p>○平成6年10月 しののめ橋第1駐輪場 (市有地) 251㎡ 開設 平成22年4月 面積変更151㎡</p> <p>○平成7年4月 あずま橋第1駐輪場 (県・市有地) 137㎡ 開設</p> <p>○平成8年2月 鈴川駐輪場 (県・市有地) 230㎡ 開設</p> <p>○平成12年3月 水神橋駐輪場 (市有地) 42㎡ 開設</p> <p>○平成14年9月 長持駐輪場 (県有地) 40㎡ 開設</p> <p>○平成14年12月 南金目駐輪場 (市有地) 107㎡ 開設</p> <p>○平成22年4月 しののめ橋第2駐輪場 (市有地) 122㎡ 開設</p> <p>○平成28年11月 あずま橋第2駐輪場 (民有地) 67㎡ 開設</p> <p>○令和元年9月 玉川橋駐輪場 (県有地) 120㎡ 開設</p> <p>○令和2年10月 大縄橋駐輪場 (県有地) 130㎡ 開設</p> <p>○令和2年10月 片岡駐輪場 (市有地) 39㎡ 開設</p> <p>○令和3年10月 中沢橋駐輪場 (市有地) 42㎡ 開設</p> <p>○令和5年7月 柳の内駐輪場 (市有地) 57㎡ 開設</p> <p>*バス停付近施設総数 13箇所 収容能力 約618台</p>				

バス停付近自転車等駐車場一覧表

No.	自転車駐車場名	管理主体	収容台数
1	しののめ橋第1駐輪場（纏 691）	平塚市	83
2	あずま橋第1駐輪場（豊田本郷 1524-3）		103
3	鈴川駐輪場（寺田縄 3-3）		100
4	水神橋駐輪場（入野 647）		20
5	長持駐輪場（長持 412-1）		20
6	南金目駐輪場（南金目 1111-4）		40
7	しののめ橋第2駐輪場（纏 690-1）		67
8	あずま橋第2駐輪場（豊田本郷 1527-4）		50
9	玉川橋駐輪場（南原 3-8-12 付近）		50
10	大縄橋駐輪場（御殿 大縄橋北西付近）		30
11	片岡駐輪場（片岡 吾妻橋東側）		20
12	中沢橋駐輪場（中沢橋交差点付近）		15
13	柳の内（大神 2974-1 付近）		20

実施結果	24時間利用可能で利用料金が無料の駐輪場をバス停付近に整備することにより、地域住民の利便性向上を図ることができた。
その他課題等	用地の確保が困難。
類似事例	
連絡先	平塚市まちづくり政策部 交通政策課 自転車対策・交通安全担当 電話 0463-21-9840（直通）
備考	

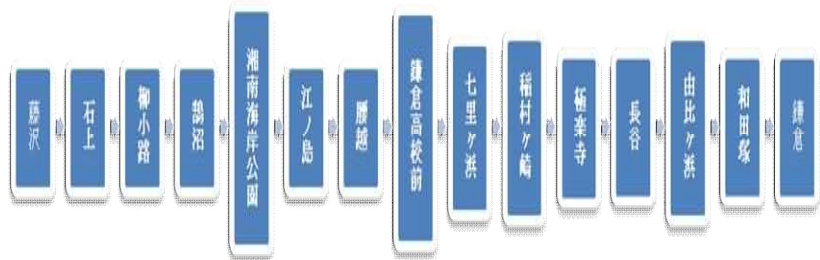
[1-A-03] 七里ガ浜パーク&レールライド

分類	TDM（交通需要マネジメント）
細分類	パークアンドライド
実施主体	江ノ島電鉄株、鎌倉プリンスホテル、鎌倉市
実施時期 （期間）	平成13年10月から
対象地域	鎌倉地域及び江ノ電鎌倉駅から江ノ電藤沢駅間
実施段階	本格実施
実施目的	鎌倉をマイカーで訪れた観光客に対し、鎌倉地域の外縁部に位置する駐車場に車を停めて、公共交通に乗り換えて観光してもらうことにより、鎌倉地域に流入する車の量を抑制し、交通環境の改善を図ることを目的とする。
コスト及び 財源	実施主体（事業者）が運営
実施概要	<p>鎌倉地域から西へ約4km離れた七里ガ浜にある国道134号沿いの駐車場に自動車を利用して、徒歩約3分の江ノ電七里ヶ浜駅で電車に乗り換えて鎌倉地域へ入ってもらうシステム。</p> <p>駐車料金と電車料金をあわせて安価な価格設定とすることにより、混雑する鎌倉地域の外側で公共交通への乗換えを促すもの。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日 7・8月を除く毎日 (チケット発売時間：10時～16時、駐車場営業時間：6時～21時) ・利用対象 普通乗用車 ・利用料金 乗用車1台あたり1,850円 【内訳】○5時間分の駐車料金 ○江ノ電全線の1日乗り降りフリー切符が2枚 【特典】○協賛寺社の拝観料割引や縁起物の進呈等 ○協賛美術館等の入館料割引や粗品の進呈 ○協賛店の特別サービス 【その他】 ○5時間を超えた場合の駐車料金は350円/30分 ○フリー切符（のりおりくん）の追加購入は、大人1枚800円、小人1枚400円 ○駐車場は、一般駐車場利用者と共用（駐車台数は、約350台） ・切符発売場所 七里ヶ浜海岸駐車場内管理事務所 (※入庫駐車券を管理事務所へ持参) <p>.....</p> <p><導入経過></p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成8年11月23日、24日（2日間） 社会実験 ・平成11年6、7、13、14、20、21、27、28日（8日間）社会実験 ・平成13年10月から本格実施（土曜日、日曜日及び休日に実施） ・平成17年4月からゴールデンウィークの土曜日、日曜日及び休日も実施 ・平成17年11月1日から平日も実施 ・平成19年1月1日から正月三が日も実施

七里ガ浜パーク&レールライド

鎌倉地域の交通環境の改善を目的に、マイカーで訪れた観光客に公共交通に乗り換えてもらう施策として、平成8年及び11年の社会実験を経て、平成13年10月から本格実施しました。

江ノ電各駅



平成19年1月1日から正月三が日も実施し、ますます便利に！

社会実験の目的

<平成8年社会実験>

- ・自動車から公共交通への転換の可能性を検証すること
- ・自動車交通を公共交通へ転換する施策の基礎的データを収集すること
- ・一連の取り組みを広く周知し、鎌倉の交通計画への理解を深め、社会的気運を高めるきっかけとすること

<平成11年社会実験>

- ・鎌倉地域交通円滑化総合実験の一つとして実施され、既に実験実施済み施策の本格実施に向けたシステムの確認
- ・実験を通じた地区交通計画の周知・啓発

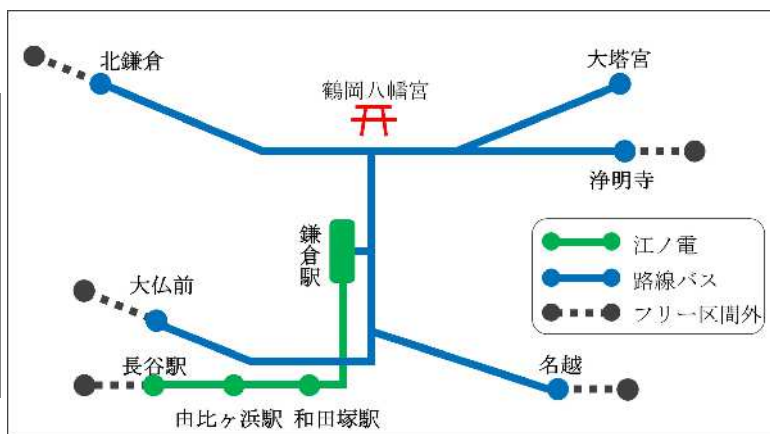
<p>実施結果</p>	<p>【過去5箇年利用実績】 平成31年度（令和元年度）1,196件 令和2年度：213件 令和3年度：469件 令和4年度：1,061件 令和5年度：566件</p>
<p>その他課題等</p>	<p>施策の効果的な周知について検討する必要がある。</p>
<p>類似事例</p>	<p>京都市、金沢市、ストラスブール</p>
<p>連絡先</p>	<p>鎌倉市まちづくり計画部都市計画課交通政策担当 電話 0467-23-3000 内線 2511</p>
<p>備考</p>	<p>ホームページ http://www.city.kamakura.kanagawa.jp/koutsu/shitirigahama-p_rr1.html</p>

[1-A-04] 由比ガ浜パーク&ライド

分類	TDM（交通需要マネジメント）
細分類	パークアンドライド
実施主体	京浜急行バス(株)、江ノ島電鉄(株)、(株)江ノ電バス、日本パーキング(株)・(株)パーキングサポートセンターグループ、神奈川県、鎌倉市
実施時期 (期間)	平成13年12月から
対象地域	鎌倉地域
実施段階	本格実施
実施目的	鎌倉をマイカーで訪れた観光客に対し、鎌倉地域の外縁部に位置する駐車場に車を停めて、公共交通に乗り換えて観光してもらうことにより、鎌倉地域に流入する車の量を抑制し、交通環境の改善を図ることを目的とする。
コスト及び 財源	実施主体（事業者）が運営
実施概要	<p>鎌倉地域へ入る南の玄関口「由比ガ浜」にある由比ガ浜地下駐車場に自動車を停めて、徒歩約8分の江ノ電和田塚駅、由比ヶ浜駅で江ノ電に乗り換え、鎌倉地域へ入ってもらうシステム。</p> <p>鎌倉駅を起点とした5つの路線バスと江ノ電の一定区間が一日乗り降り自由。駐車料金とバス・電車料金をあわせて安価な価格設定とすることにより、混雑する鎌倉地域の外側で公共交通への乗換えを促すもの。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施日 夏季期間（7月・8月）及び1月1日～3日を除く毎日 （チケット発売時間：9時～15時、駐車場営業時間：9時～18時^(※)） ^(※) 駐車場の営業時間（18時）を超えた場合、出庫が翌日 ・ 利用料金 乗用車1台あたり1,700円 【内訳】○5時間分の駐車料金 ○鎌倉駅を起点とした5つの路線バスと江ノ電の一定区間が一日乗り降り自由のきっぷが1枚 【特典】○協賛寺社の拝観料割引や縁起物の進呈等 ○協賛美術館等の入館料割引や粗品の進呈 ○協賛店の特別サービス 【その他】 ○5時間を超えた場合の駐車料金は210円/30分 ○フリー切符の追加購入は、大人1枚900円、小人1枚450円 ※鎌倉フリー環境手形と同額です ○駐車場は、一般駐車場利用者と共用（駐車台数は、188台） ・ 利用方法 駐車場管理窓口付近に設置されている自動発券機で購入し周遊後、出庫前に管理室にて駐車場の割引認証を受ける。

由比ガ浜パーク&ライド

鎌倉地域の交通環境の改善を目的に、マイカーで訪れた観光客に公共交通に乗り換えてもらう施策。平成13年6月にオープンした県営由比ガ浜地下駐車場を利用したシステムとして、同年12月から本格実施しました。



※鎌倉フリー環境手形と同区間

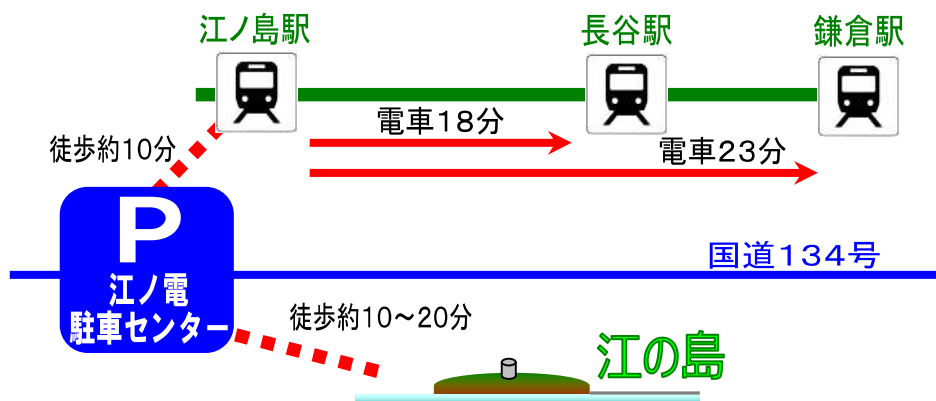
- ・平成13年12月 「パーク&バスライド」としてスタート
(土曜日、日曜日、休日に実施)
- ・平成15年 1月 フリー区間に江ノ電鎌倉駅～長谷駅を追加し、「パーク&ライド」に
- ・平成29年 4月 ゴールデンウィーク時等において営業時間を拡大
- ・令和元年10月 駐車場利用時間が1時間延長し5時間に

実施結果	<p>【過去5箇年利用実績】</p> <p>平成31年度（令和元年度）1,604件</p> <p>令和2年度：2件</p> <p>令和3年度：0件</p> <p>令和4年度：0件</p> <p>令和5年度：325件</p> <p>※令和3年度及び令和4年度は休止中。令和5年9月から再開。</p>
その他課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施策の効果的な周知について検討する必要がある。
類似事例	京都市、金沢市、ストラスブール
連絡先	鎌倉市まちづくり計画部都市計画課交通政策担当 電話 0467-23-3000 内線 2511
備考	<p>ホームページ</p> <p>http://www.city.kamakura.kanagawa.jp/koutsu/yuigahama-p_r1.html</p>

[1-A-05] 江の島パーク&レールライド

分類	TDM（交通需要マネジメント）
細分類	パークアンドライド
実施主体	江ノ島電鉄株、鎌倉市
実施時期 （期間）	平成18年4月から
対象地域	鎌倉地域及び江ノ電鎌倉駅から江ノ電藤沢駅間
実施段階	本格実施
実施目的	鎌倉をマイカーで訪れた観光客に対し、鎌倉地域の外縁部に位置する駐車場に車を停めて、公共交通に乗り換えて観光してもらうことにより、鎌倉地域に流入する車の量を抑制し、交通環境の改善を図ることを目的とする。
コスト及び 財源	実施主体（事業者）が運営
実施概要	<p>藤沢市片瀬海岸にある国道134号沿いの駐車場に自動車を停めて、徒歩約10分の江ノ電江ノ島駅で電車に乗り換えて鎌倉地域へ入ってもらうシステム。</p> <p>駐車料金と電車料金をあわせて安価な価格設定とすることにより、混雑する鎌倉地域の外側で公共交通への乗換えを促すもの。</p> <p>江ノ島観光、鎌倉観光と広域観光目的に最適。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日 7・8月を除く毎日 (チケット発売時間：6時50分～17時、駐車場営業時間：4時～23時) ・利用対象 普通乗用車 ・利用料金 乗用車1台あたり2,020円 【内訳】○5時間分の駐車料金 ○江ノ電全線（藤沢駅～鎌倉駅）の1日乗り降りフリー切符が2枚 【特典】○協賛寺社の拝観料割引や縁起物の進呈等 ○協賛美術館等の入館料割引や粗品の進呈 ○協賛店の特別サービス 【その他】 ○5時間を超えた場合の駐車料金は200円/30分 (繁忙期は250円/30分) ○フリー切符の追加購入は、大人1枚800円、小人1枚400円 ○駐車場は、一般駐車場利用者と共用（駐車台数は、約200台） ・切符発売場所 江ノ電江ノ島駅 (※入庫駐車券を江ノ島駅へ持参)

江の島パーク&レールライド



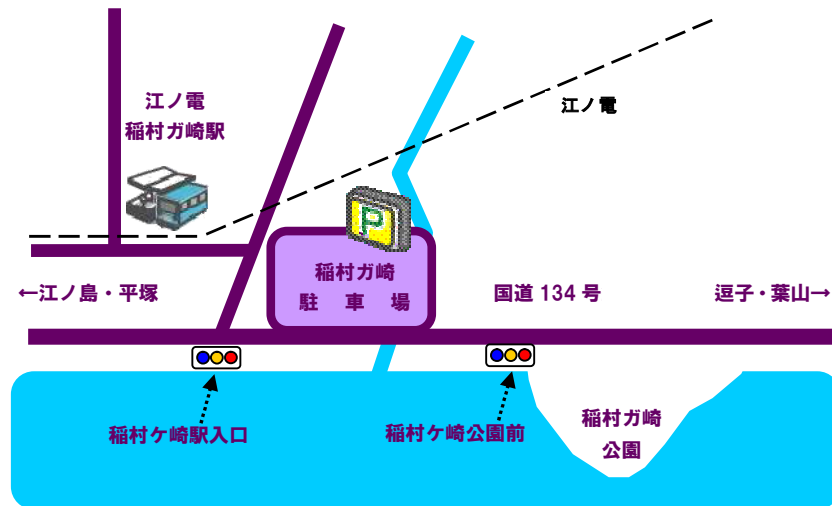
鎌倉地域の交通環境の改善を目的に、マイカーで訪れた観光客に公共交通に乗り換えてもらう施策として、交通事業者等の協力を得て、平成18年4月から実施しました。

実施結果	<p>【過去5箇年利用実績】</p> <p>平成31年度（令和元年度）2,841件</p> <p>令和2年度：642件</p> <p>令和3年度：954件</p> <p>令和4年度：1,936件</p> <p>令和5年度：1,492件</p>
その他課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施策の効果的な周知について検討する必要がある。
類似事例	京都市、金沢市、ストラスブール
連絡先	鎌倉市まちづくり計画部都市計画課交通政策担当 電話 0467-23-3000 内線 2511
備考	<p>ホームページ</p> <p>http://www.city.kamakura.kanagawa.jp/koutsu/enoshima-p_rr.html</p>

[1 - A - 0 6] 稲村ガ崎パーク&レールライド

分類	TDM（交通需要マネジメント）
細分類	パークアンドライド
実施主体	江ノ島電鉄（株）、神奈川県道路公社、鎌倉市
実施時期 （期間）	平成 20 年 3 月から （令和 6 年 3 月から休止中）
対象地域	鎌倉地域及び江ノ電鎌倉駅から江ノ電藤沢駅間
実施段階	本格実施
実施目的	鎌倉をマイカーで訪れた観光客に対し、鎌倉地域の外縁部に位置する駐車場に車を停めて、公共交通に乗り換えて観光してもらうことにより、鎌倉地域に流入する車の量を抑制し、交通環境の改善を図ることを目的とする。
コスト及び 財源	実施主体（事業者）が運営
実施概要	<p>新田義貞の伝説で有名な稲村ヶ崎にある稲村ガ崎駐車場に車を停めて、徒歩約 3 分の江ノ電稲村ヶ崎駅で電車に乗り換えて鎌倉地域へ入ってもらうシステム。 駐車料金と電車料金をあわせて安価な価格設定とすることにより、混雑する鎌倉地域の外側で公共交通への乗換えを促すもの。 江の島から鎌倉までの海岸エリアを散策するのに便利。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日 7 月・8 月を除く毎日 （チケット発売時間：6 時 50 分～17 時、駐車場営業時間：24 時間） ・利用対象 普通乗用車 ・利用料金 乗用車 1 台あたり 1,890 円 【内訳】○6 時間分の駐車料金 ○江ノ電全線（藤沢駅～鎌倉駅）の 1 日乗り降りフリー切符が 2 枚 【特典】○協賛寺社の拝観料割引や縁起物の進呈等 ○協賛美術館等の入館料割引や粗品進呈 ○協賛店の特別サービス 【その他】 ○6 時間を超えた場合の駐車料金は 400 円／60 分 ○フリー切符の追加購入は、大人 1 枚 800 円・小人 1 枚 400 円 ○駐車場は、一般駐車場利用者と共用（駐車台数は、約 50 台） ・切符発売場所 江ノ電稲村ヶ崎駅 （※入庫駐車券を稲村ヶ崎駅へ持参）

稲村ガ崎パーク&レールライド



鎌倉地域の交通環境の改善を目的に、マイカーで訪れた観光客に公共交通に乗り換えてもらう施策として、交通事業者等の協力を得て、平成20年3月から実施しています。

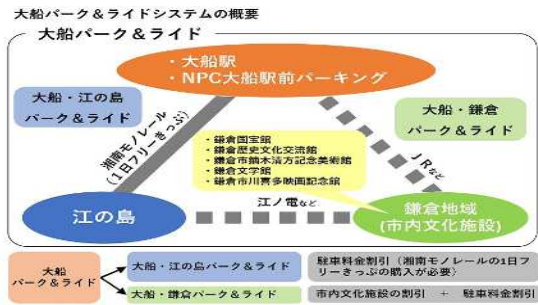
実施結果	<p>【過去5箇年利用実績】</p> <p>平成31年度（令和元年度）2,142件</p> <p>令和2年度：555件</p> <p>令和3年度：908件</p> <p>令和4年度：2,298件</p> <p>令和5年度：1,539件</p>
その他課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施策の効果的な周知について検討する必要がある。
類似事例	京都市、金沢市、ストラスブール
連絡先	鎌倉市まちづくり計画部都市計画課交通政策担当 電話 0467-23-3000 内線 2511
備考	<p>ホームページ</p> <p>http://www.city.kamakura.kanagawa.jp/koutsu/inamura-p_r.html</p>

[1-A-07] 大船パーク&ライド

分類	TDM（交通需要マネジメント）
細分類	パークアンドライド
実施主体	湘南モノレール株式会社、日本パーキング株式会社、鎌倉市
実施時期 （期間）	令和3年7月から
対象地域	鎌倉地域及び大船駅から江の島周辺
実施段階	本格実施
実施目的	鎌倉をマイカーで訪れた観光客に対し、鎌倉地域の外縁部（大船）に位置する駐車場に車を停めて、公共交通に乗り換えて観光してもらうことにより、鎌倉地域に流入する車の量を抑制し、交通環境の改善を図ることを目的とする。
コスト及び 財源	実施主体（事業者）が運営
実施概要	<p>大船駅から江の島周辺や鎌倉へ来訪する観光客に向けた施策で、東京2020大会開催時の江の島周辺の交通渋滞の緩和も視野に入れた。</p> <p>大船に車を停めて湘南モノレールの1日フリーきっぷを購入して観光してもらい、駐車料金の割引が受けられるシステムである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日 毎日 （駐車場営業時間：午前5時～午前1時） ・利用対象 普通乗用車 ・利用料金 (1)大船・鎌倉パーク&ライド 【内訳】 ○平日・休日ともに200円引き (2)大船・江の島パーク&ライド ○平日200円引き ○休日300円引き (3)大船・鎌倉パーク&ライドと大船・江の島パーク&ライドの併用 ○平日最大400円引き ○休日最大500円引き ・特典 大船・鎌倉パーク&ライド ○5つの文化施設（鎌倉国宝館、鎌倉歴史文化交流館、鎌倉市鍋木清方記念美術館、鎌倉文学館（現在大規模修繕に伴い休館中）、鎌倉市川喜多映画記念館）において、それぞれ観覧料等が50円引き。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○大船・鎌倉パーク&ライドは鎌倉駅周辺の文化施設で NPC 大船駅前パーキングの駐車券を提示すると観覧料等が割引になり、さらに駐車割引のサービス券が貰える。 ○湘南モノレール1日フリーきっぷの追加購入は、大人1枚610円、小人1枚310円（※湘南モノレール大船駅で、駅員に NPC 大船駅前パーキングの駐車券と1日フリーきっぷを提示し、割引処理を受けることで割引の対象となる。） ○駐車場は、一般駐車場利用者と共用（駐車台数は約200台） <ul style="list-style-type: none"> ・湘南モノレール1日フリーきっぷ購入場所 湘南モノレール全駅

大船パーク&ライド

大船駅から江の島周辺や鎌倉へ来訪する観光客に向けた施策である。また、東京2020大会開催時の江の島周辺の交通渋滞の緩和も視野に入れ、令和3年7月から本格実施した。



令和3年7月1日から実施し、ますます便利に！

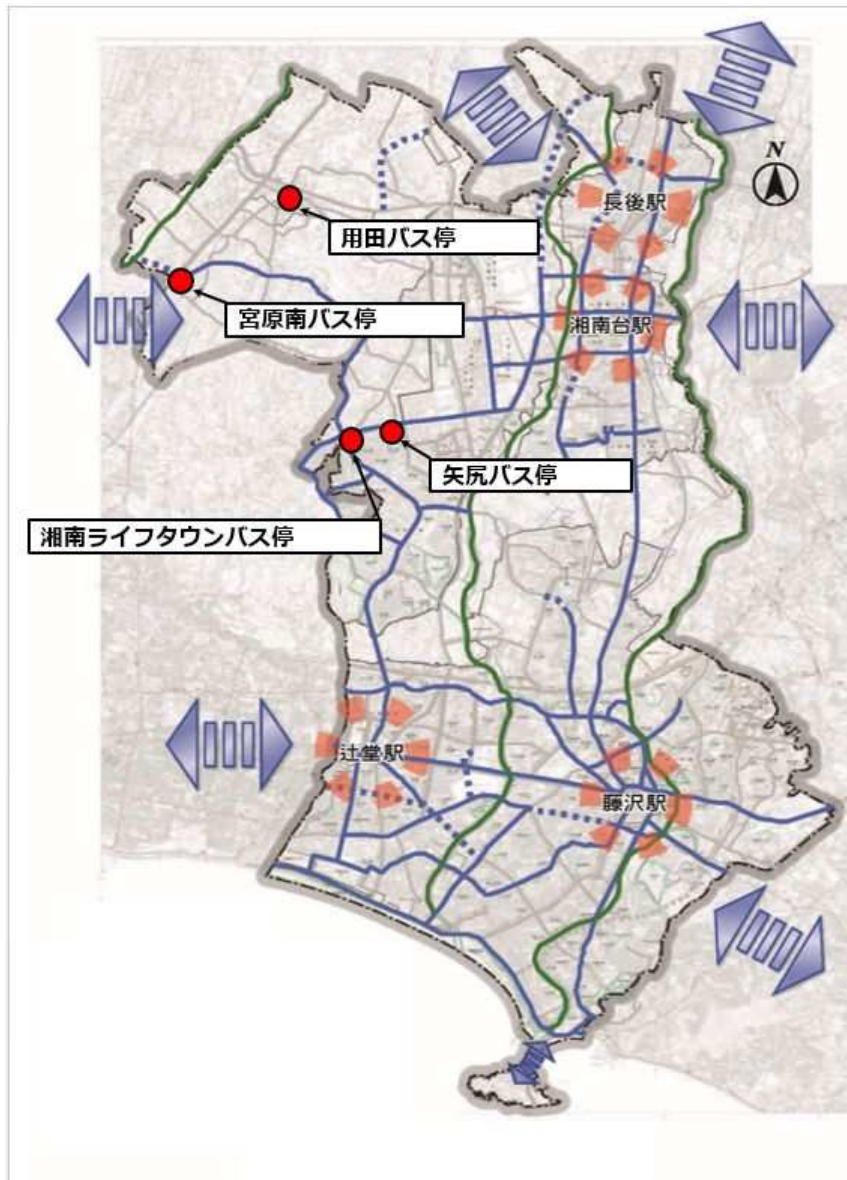
＜施策の位置づけ＞

- 平成8年に策定した「鎌倉地域の地区交通計画に関する提言」の20の施策に位置付けられていないものの、後の平成27年3月に策定した「鎌倉地域の地区交通計画策定に向けた中間とりまとめ」の新たな施策として大船パーク&ライドを位置付けた。

実施結果	<p>【過去3箇年利用実績】</p> <p>令和3年度：268件</p> <p>令和4年度：768件</p> <p>令和5年度：595件</p>
その他課題等	<p>施策の効果的な周知について検討する必要がある。</p>
類似事例	<p>京都市、よみうりランド</p>
連絡先	<p>鎌倉市まちづくり計画部都市計画課交通政策担当 電話 0467-23-3000 内線 2511</p>
備考	<p>ホームページ</p> <p>http://www.city.kamakura.kanagawa.jp/koutsu/shitirigahama-p_rr1.html</p>

[1-A-08] サイクルアンドバスライド

分類	TDM(交通需要マネジメント)												
細分類	パークアンドバスライド												
実施主体	藤沢市												
実施時期 (期間)	平成26年度～												
対象地域	藤沢市												
実施段階	実施中												
実施目的	バス停付近に自転車駐車を設け、自家用車から公共交通への利用転換を促進することで、まちなかへの自動車の流入抑制を図る。												
コスト及び 財源													
実施概要	<p><サイクルアンドバスライド(バス停付近駐輪場)> ●市内バス停4箇所において、駐輪場を設置。</p> <table border="0"> <tr> <td>平成26年10月～</td> <td>宮原南バス停</td> <td>10台</td> </tr> <tr> <td>平成27年 6月～</td> <td>矢尻バス停</td> <td>37台</td> </tr> <tr> <td>平成31年 4月～</td> <td>湘南ライフタウンバス停</td> <td>20台</td> </tr> <tr> <td>令和2年 9月～</td> <td>用田バス停</td> <td>53台</td> </tr> </table>  <p>矢尻バス停サイクルアンドバスライド施設</p>	平成26年10月～	宮原南バス停	10台	平成27年 6月～	矢尻バス停	37台	平成31年 4月～	湘南ライフタウンバス停	20台	令和2年 9月～	用田バス停	53台
平成26年10月～	宮原南バス停	10台											
平成27年 6月～	矢尻バス停	37台											
平成31年 4月～	湘南ライフタウンバス停	20台											
令和2年 9月～	用田バス停	53台											



実施結果	バス停付近に駐輪場を設置したことにより、バス利用の促進に寄与した。
その他課題等	
類似事例	茅ヶ崎市、厚木市、綾瀬市 など
連絡先	藤沢市 計画建築部 都市計画課 電話 0466-25-1111 内線 4212
備考	

[1-A-09] サイクルアンドバスライド

分類	TDM(交通需要マネジメント)
細分類	サイクルアンドバスライド
実施主体	茅ヶ崎市
実施時期(期間)	平成16年度～
対象地域	松風台地区、萩園地区、鶴嶺地区、堤地区、みずき地区、浜見平地区、中島地区、平太夫新田地区
実施段階	社会実験中
実施目的	<p>「茅ヶ崎市総合交通プラン」(平成14年3月策定)に基づき策定された「ちがさき自転車プラン」(平成16年3月策定)において、「サイクルアンドバスライド」の推進を施策の1つに掲げ、取り組んだ。平成26年4月策定の「第2次ちがさき自転車プラン」でも、「公共交通との乗り継ぎ利便性の向上」を掲げ、「サイクルアンドバスライド」を推進している。</p> <p>以前より、本市では、自宅等から自転車でバス停まで行き、バスに乗り換えて駅へ向かう人が散見されており、いくつかのバス停周辺には放置自転車が目立つ状況がある。そこで、放置自転車の削減と公共交通利用の利便性向上を目的に、施設設置と利用促進を行っている。</p>
コスト及び財源	(参考)・小中島バス停、中島バス停付近 ・新田入口バス停付近 2ヶ所で 200 万円程度(初期簡易自転車ラック設置等)
実施概要	<p>○駐輪スペース</p> <p>■設置場所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古川バス停付近 ・松風台バス停付近 ・鶴嶺小学校前バス停付近 ・堤坂下バス停付近 ・湘南みずきバス停付近 ・浜見平団地バス停付近 ・小中島バス停、中島バス停付近 ・新田入口バス停付近 <p>■ラックの設置台数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・限られたスペースに効率よく整然と駐輪できる簡易自転車ラックを使用。 ・松風台地区(松風台バス停)については、18台分のラックを設置。 ・萩園地区(古川バス停)については、35台分のラックを設置。 (道路北側に17台分、道路南側に18台分) ・鶴嶺地区(鶴嶺小学校前バス停)については、15台分のラックを設置。 ・堤地区(堤坂下バス停)については、15台分のラックを設置。 ・みずき地区に(湘南みずきバス停)については、24台分のラックを設置。 ・浜見平地区(浜見平団地バス停)については、70台分のラックを設置。 (北側に40台分、南側に30台分) ・中島地区(小中島バス停・中島バス停)については、18台分のラックを設置。 ・平太夫新田地区(新田入口バス停)については、5台分のラックを設置。 <p>■利用料金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駐輪スペース利用料金は無料。(※バスの利用代金は各自負担。) <p>■整備イメージ</p> <p>○サイクルアンドバスライド駐輪場 (湘南みずきバス停)</p> <p>○簡易自転車ラック</p>
	 

<p>実施結果</p>	<p>平成16年度に2箇所(古川バス停北側・南側、松風台バス停)で実験を開始し、アンケート調査によって「サイクルアンドバスライド」への利用者の評価が高いことが明らかになった。 この結果から、茅ヶ崎市におけるサイクルアンドバスライド導入箇所の考え方として、効果的と考えられる前提条件を設定した。</p> <p>＜サイクルアンドバスライド導入前提条件＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 鉄道・バスの公共交通利用が不便な交通空白地区がある。 ○ バス停に駐輪スペースを設置した場合、バス利用の需要が見込まれる居住人口が多い地域である。 ○ 交通拠点である茅ヶ崎駅及び駅周辺までの距離が自転車で行くにはやや遠い地域である。 ○ 交通拠点である茅ヶ崎駅及び駅周辺までのバス路線が充実している。 <p>平成17年度は2箇所(鶴嶺小学校前バス停・堤坂下バス停)に新設。また、利用者の増加に伴い松風台バス停に6台分のラックを増設。平成21年度は1箇所(湘南みずきバス停)、平成23年度は1箇所(浜見平団地バス停北側)に新設。平成26年度には、2箇所新設(小中島バス停・中島バス停、新田入口バス停)、1箇所増設(浜見平団地バス停南側)し、現在に至る。</p>
<p>その他 課題等</p>	
<p>類似事例</p>	<p>浜松市、三郷市、吉川市 など</p>
<p>連絡先</p>	<p>茅ヶ崎市 都市部 都市政策課 交通計画担当 電話:0467-81-7181</p>
<p>備考</p>	<p>ホームページ http://www.city.chigasaki.kanagawa.jp/road/jitensha_plan/1011883/1014664.html</p>

[1-A-10] サイクルアンドバスライド

分類	TDM(交通需要マネジメント)					
細分類	パークアンドライド					
実施主体	厚木市					
実施時期 (期間)	平成13年4月～(継続中)					
対象地域	厚木市内11箇所					
実施段階	本格実施					
実施目的	郊外のバス停周辺に自転車駐車を設けることにより、バス利用者の利便性の向上を図ることにより、バス利用を促進し、自家用車からバス利用への転換による交通混雑の緩和や、それに伴うバス走行性の向上など、交通環境の改善と、自転車利用の促進による環境対策を目的とする。					
コスト及び 財源	平成13年から11箇所を整備 84,373千円					
実施概要	サイクル&バスライド自転車駐車場設置状況					
	自転車 駐車場名称	設置位置	用地	面積	駐輪台数 (ラック式)	供用開始 (事業実施年度)
	妻田薬師	「妻田薬師」 上りバス停北側	干無川上部利用	219 m ²	154台 (ラック式)	H13.4.1 (H12年度事業)
	鳶尾団地	「鳶尾団地」 バス折り返し場内	独立行政法人 都市再生機構所有地 (無償使用貸借契約)	178 m ²	47台 (ラック式)	H14.4.1 (H13年度事業)
	藤塚	「藤塚」上り バス停前	厚木市道1-19号 道路付属施設	32 m ²	35台 (ラック式)	H14.12.1 (H14年度事業)
	依知 小学校前	「依知小学校前」 下りバス停前	市立依知小学校 用地の一部	87 m ²	50台 (ラック式)	H16.3.26 (H15年度事業)
	妻田	「妻田」 上りバス停前	干無川上部利用	283 m ²	52台 (ラック式)	H17.3.25 (H16年度事業)
	松蓮寺	「松蓮寺」 下りバス停前 (神奈中厚木営業所 南東角)	神奈川中央交通(株) 厚木営業所用地 (無償使用貸借契約)	139 m ²	100台 (ラック式)	H18.4.10 (H17年度事業)
	若宮橋	「若宮橋」 上りバス停前	民間企業用地 (無償使用貸借契約)	131 m ²	45台 (ラック式)	H23.3.1 (H22年度事業)
	山際	「山際」 上り下りバス停前	北小学校前歩道橋下 (国有地)	84 m ²	26台 (ラック式)	H26.2.1 (H25年度事業)
	屋際	「屋際」 下りバス停前	厚木市道D-399号線 道路付属施設	78 m ²	30台 (ラック式)	H27.3.2 (H26年度事業)
	金田	「金田神社前」 下りバス停前	自治会管理用地 (無償使用貸借契約)	63 m ²	25台 (ラック式)	H27.7.15 (H27年度事業)
	相川 中学校前	「相川中学校前」 上りバス停前	厚木市道2-08号線 道路付属施設	61 m ²	10台 (ラック式)	H31.4.1 (H30年度事業)
※サイクルアンドバスライド自転車駐車場は、使用料及び使用登録等は不要。						



松蓮寺バス停前サイクルアンドバスライド自転車駐車場画像

	 <p>松蓮寺バス停前サイクルアンドバスライド自転車駐車場画像</p>
<p>実施結果</p>	<p>サイクルアンドバスライド自転車駐車場は、平均利用状況30%前後の稼働率で利用されている。 事業効果として、整備前のバス停周辺における乱雑な放置自転車が増減され、道路通行上の支障等も解消されているほか、市街地への自転車流入の抑制にもつながっている。</p>
<p>その他課題等</p>	<p>既存の公有地等を利用した施設整備を前提としているため、市が行う道路整備事業等とリンクし自転車駐車場を整備するなど、サイクルアンドバスライド自転車駐車場用地の確保や、調整が必要である。</p>
<p>類似事例</p>	<p>県内各市</p>
<p>連絡先</p>	<p>厚木市市民交流部くらし交通安全課 電話 (046)225-2760</p>
<p>備考</p>	

[1-A-11] サイクルアンドバスライド

分類	TDM(交通需要マネジメント)		
細分類	サイクルアンドバスライド(バス停付近駐輪場)		
実施主体	綾瀬市		
実施時期 (期間)	平成4年度～		
対象地域	市内バス停5箇所		
実施段階	本格実施		
実施目的	市内バス停の近隣に駐輪場を設置することで乗継ぎの利便性の向上とバス利用の促進を図る。		
コスト及び 財源	借地等 325千円		
実施概要	<サイクルアンドバスライド(バス停付近駐輪場)> ●市内バス停5箇所において、駐輪場を設置。		
	名称	所在地	収容台数
	吉岡バスターミナル 駐輪場	吉岡東二丁目 104-1	約10台
	大法寺駐輪場	深谷南二丁目 1470-2	約80台
	上土棚駐輪場	上土棚中一丁目 706-4	約50台
	上落合駐輪場	落合北七丁目 973-3	約150台
	市役所バス乗換え 用自転車置場	早川 550	約10台
	面積		
		12㎡	
		152㎡	
		61.4㎡	
		232.65㎡	
		10.66㎡	

	<p style="text-align: center;">バス利用者駐輪場位置図</p>
<p>実施結果</p>	<p>バス停付近に駐輪場を設置したことにより、バス利用の促進に寄与した。</p>
<p>その他課題等</p>	
<p>類似事例</p>	
<p>連絡先</p>	<p>神奈川県 綾瀬市役所 <バス停付近駐輪場関係> 都市部 都市整備課 まちづくり担当 電話【代表】0467-77-1111(内線)2532 【直通】0467-70-5629 <交通計画関係> 都市部 都市計画課 計画調整・開発指導担当 電話【代表】0467-77-1111(内線)2511・2512 【直通】0467-70-5625</p>
<p>備考</p>	<p>市ホームページ https://www.city.ayase.kanagawa.jp/kurashi_tetsuzuki/doro_kotsu/chushajo_churinjo/11549.html</p>

[1-A-12] サイクル・アンド・バスライド

分類	TDM(交通需要マネジメント)											
細分類	パークアンドライド											
実施主体	中井町											
実施時期 (期間)	令和4年度～											
対象地域	町内バス停付近4か所											
実施段階	本格実施											
実施目的	バス交通環境の充実 自転車活用の促進 過度に依存したマイカー利用からの転換 環境負荷の軽減											
コスト及び 財源	なし											
実施概要	<p>町内4か所のバス停付近に駐輪場を設置</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>場所</th> <th>駐輪台数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中井町役場入口バス停</td> <td>7台</td> </tr> <tr> <td>北田バス停付近</td> <td>6～7台</td> </tr> <tr> <td>井ノ口小学校前バス停付近</td> <td>8台</td> </tr> <tr> <td>原バス停付近</td> <td>8台</td> </tr> </tbody> </table>		場所	駐輪台数	中井町役場入口バス停	7台	北田バス停付近	6～7台	井ノ口小学校前バス停付近	8台	原バス停付近	8台
場所	駐輪台数											
中井町役場入口バス停	7台											
北田バス停付近	6～7台											
井ノ口小学校前バス停付近	8台											
原バス停付近	8台											



中井町役場入口バス停



北田バス停付近



井ノ口小学校前バス停付近



原バス停付近

実施結果	場所により頻度に差はあるものの一定の利用があり、バスや自転車の利用促進に寄与した。
その他 課題等	
類似事例	県内各市町
連絡先	中井町企画課政策班 電話 0465-81-1112
備考	ホームページ https://www.town.nakai.kanagawa.jp/soshiki/kikakukaseisakuhan/doro_kotsu/2501.html

[1-A-13] シャトルバス(まつだ桜まつり)

分類	TDM(交通需要マネジメント)
細分類	パークアンドライド
実施主体	富士急モビリティ株式会社
実施時期(期間)	第2回開催より(継続中)
対象地域	JR御殿場線松田駅及び臨時駐車場から会場(西平畑公園)
実施段階	本格実施
実施目的	さくらまつり会場の西平畑公園には常設のバス停がないことから、来園者利便性向上を図るため、バス事業者に協力を求め、イベント期間中に限り臨時バスの運行を図る。
コスト及び財源	なし

松田町内「西平畑公園」にて毎年2～3月にかけて行われる「まつだ桜まつり」開催時にJR御殿場線松田駅及び酒匂川河川敷に開設する臨時駐車場から会場(西平畑公園)まで臨時のシャトルバスを運行している。

- 運行主体: 富士急モビリティ株式会社
- 運行本数: 随時臨時便を運行

実施概要



実施結果	<利用者数> 第 21 回まつだ桜まつり (平成 31 年 2 月 9 日～3 月 10 日) 59,733 人 第 22 回まつだ桜まつり (令和 2 年 2 月 8 日～3 月 1 日) 46,962 人 第 23 回まつだ桜まつり (令和 4 年 2 月 11 日～3 月 21 日) 35,827 人 第 24 回まつだ桜まつり (令和 5 年 2 月 11 日～3 月 12 日) 40,646 人 第 25 回まつだ桜まつり (令和 6 年 2 月 3 日～3 月 3 日) 50,863 人
その他 課題等	
類似事例	
連絡先	松田町観光経済課 電話 0465-83-1228 富士急モビリティ(株) 電話 0465-82-1361
備考	

[1-A-14] シャトルバス（あじさいまつり）

分類	TDM(交通需要マネジメント)
細分類	パークアンドライド
実施主体	開成町あじさいまつり実行委員会
実施時期(期間)	令和5年6月10日(土)～令和5年6月18日(日)
対象地域	小田急線開成駅から会場(あじさいの里)
実施段階	本格実施
実施目的	開成町の一大イベントである「あじさいまつり」の会場である「あじさいの里」には、常設のバス停がないことから、イベント期間中に限り臨時のバスを運行して、来園者の利便性向上を図る。
コスト及び財源	令和5年決算額：95千円

6月上旬に開催される「あじさいまつり」にて小田急線開成駅から会場(あじさいの里)までの臨時シャトルバス及び会場内循環バスを運行している。

①運行主体

- シャトルバス:箱根登山バス
- 会場内循環バス:開成町あじさいまつり実行委員会

②運行期間

令和5年6月10日(土)～6月18日(日)

③会場案内図及び時刻表

実施概要

来場者の方へお願い
 ・近郊始動車への駐車は西向きをお願いします。
 ・公共交通機関等での来場者に駐車取り違いを引当てさせていただきます。
 ・新しくはホームページで確認ください。
 開成町あじさいまつり

あじさいまつり 会場案内図

時刻表

①開成駅→あじさいの里
 運行日：6/10(土)～6/18(日)
 料金：片道 大人220円、小人110円
 (6歳未満は無料)

開成駅発	あじさいの里発				
15	35	55	9	30	50
15	25	55	10	10	30
15	25	55	11	10	30
15	35	55	12	10	30
15	35	55	13	10	30
15	25	55	14	10	30
15	35	55	15	10	30
15	16	10	30	50	

②会場内循環バス
 運行日：6/10(土)、11(日)、17(土)、18(日)
 25分間隔で運行

料金：無料	P1発車後(大正三ツツ年)	P11・P12発	P1発
		25	10
		15	11
		5	12
		45	13
		25	14
		15	00
		15	16

交通のご案内

海浜五三から 北東線乗換 小田急線 小田急線 小田急線
 深谷五三から JR 相模線 小田急線
 箱根五三から 小田急線
 新谷五三から JR 東横線 小田急線
 JR 東横線 小田急線


●小田急線開成駅より
 徒歩10～50分、またはシャトルバス10分(片道)
 ●小田急線箱根登山バス開成駅より
 徒歩25分、または箱根登山バス開成駅より(7～9分)市田新川入口(下り徒歩)より
 ※市田新川入口よりシャトルバス運行時刻表は、開成駅からの時刻表とバスで利用ください。

④運賃

- シャトルバス:片道 大人220円、小人は110円、(6歳未満は無料)
- 会場内循環バス:無料

実施結果	令和5年度利用実績 7,840 人
その他課題等	・会場内循環バスは、町所有バスでの運行のため乗車定員が少なく、利用希望者が乗り切れないケースが発生している。
類似事例	
連絡先	開成町あじさいまつり実行委員会 事務局 開成町産業振興課 0465-84-0317
備考	開成町あじさいまつり実行委員会ホームページ https://kaisei-ajisai.com/

[1-A-15] シャトルバス（瀬戸屋敷ひなまつり）

分類	TDM(交通需要マネジメント)
細分類	パークアンドライド
実施主体	瀬戸屋敷ひなまつり実行委員会
実施時期(期間)	令和6年2月17日(土)～3月3日(日)
対象地域	小田急線開成駅から会場(あしがり郷瀬戸屋敷)
実施段階	本格実施
実施目的	「瀬戸屋敷ひなまつり」の会場である「あしがり郷瀬戸屋敷」には、常設のバス停がないことから、イベント期間中に限り臨時のバスを運行して、来場者の利便性向上を図る。
コスト及び財源	令和5年度決算額:121千円
実施概要	<p>2月下旬から3月上旬に開催される「瀬戸屋敷ひなまつり」にて小田急線開成駅～会場(あしがり郷瀬戸屋敷)間で、臨時バスを運行している。</p> <p>①運行主体 瀬戸屋敷ひなまつり実行委員会(町所有バスを使用し、運転業務を委託)</p> <p>②運行期間 令和5年度:2月23日(金)、24日(土)、25日(日)、3月2日(土)、3日(日)</p> <p>③会場案内図及びシャトルバス時刻表</p>  <p>④運賃 無料</p>
実施結果	令和5年度実績:791人
その他課題等	・町所有バスでの運行のため、乗車定員が少なく、利用希望者が乗り切れないケースが発生している。
類似事例	
連絡先	瀬戸屋敷ひなまつり実行委員会 事務局 開成町産業振興課 電話 0465-84-0317
備考	瀬戸屋敷ひなまつり実行委員会ホームページ https://www.kaisei-hinamatsuri.com/

[1-A-16] シャトルバス（湯河原梅林「梅の宴」）

分類	TDM(交通需要マネジメント)																																
細分類	パークアンドライド																																
実施主体	バス事業者(箱根登山バス株式会社)																																
実施時期 (期間)	平成8年1月から																																
対象地域	湯河原駅から幕山公園																																
実施段階	本格実施																																
実施目的	「梅の宴」実施にあわせ、会場の幕山公園までのアクセス向上のため、イベント期間中に限り臨時バスを運行する。																																
コスト及び 財源	なし																																
実施概要	<p>幕山公園にて毎年2月～3月にかけて行われるイベント「梅の宴」の開催時に湯河原駅から幕山公園間の臨時シャトルバスを運行。</p> <p>○運行主体:箱根登山バス ○運行本数:下記ダイヤのほか、随時臨時便を運行</p> <div style="border: 2px solid #e91e63; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">“梅の宴”交通のご案内</p> <p style="text-align: center; font-size: 20px; font-weight: bold;">湯河原駅～湯河原梅林 直通バス約15分!!</p> <p style="text-align: center; font-weight: bold;">◆バス時刻表 運賃 おとな 290円 PASMO・Suica 使えます</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>時刻</th> <th>湯河原駅発(3番のりば)</th> <th>時刻</th> <th>幕山公園発</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9</td> <td>00 50</td> <td>9</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>50</td> <td>10</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>50</td> <td>11</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>—</td> <td>12</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>40</td> <td>13</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>35</td> <td>14</td> <td>05 55</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>20</td> <td>15</td> <td>50</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: 10px;">路線バスの運転士が不足しています。感染症の流行等により運転士の確保が困難になり運休する場合がありますので、予めご了承ください。</p> <p style="text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">箱根登山バス </p> <p style="text-align: center;">湯河原営業所 https://www.hakonenavi.jp/hakone-tozanbus/ TEL.0465-62-2776</p> </div>	時刻	湯河原駅発(3番のりば)	時刻	幕山公園発	9	00 50	9	22	10	50	10	12	11	50	11	12	12	—	12	12	13	40	13	—	14	35	14	05 55	15	20	15	50
時刻	湯河原駅発(3番のりば)	時刻	幕山公園発																														
9	00 50	9	22																														
10	50	10	12																														
11	50	11	12																														
12	—	12	12																														
13	40	13	—																														
14	35	14	05 55																														
15	20	15	50																														



実施結果	利用者 14,860 人 (令和5年度実績)
その他課題等	バスの運転手不足等により臨時直通バスの運行本数が減少しているため、代替手段の確保が急務である。
類似事例	
連絡先	箱根登山バス(株)湯河原営業所 電話 0465-62-2776 湯河原町役場 観光課 電話 0465-63-2111 内線 713~715
備考	湯河原温泉公式観光サイト(梅の宴) https://www.yugawara.or.jp/sightseeing/953/

[1-A-17] シャトルバス（さつきの郷）

分類	TDM(交通需要マネジメント)
細分類	パークアンドライド
実施主体	バス事業者(箱根登山バス株式会社、伊豆箱根バス株式会社)
実施時期(期間)	平成15年5月から
対象地域	湯河原駅から星ヶ山公園「さつきの郷」
実施段階	本格実施
実施目的	会場である星ヶ山公園までの交通アクセスは、自家用車またはタクシーのみであり、来訪者の利便を図るため、臨時運行する。
コスト及び財源	なし
実施概要	<p>星ヶ山公園「さつきの郷」にて毎年5月～6月に、さつきの開花に合わせて湯河原駅から「さつきの郷」間の臨時シャトルバスを運行。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○運行主体:箱根登山バス ○運行本数:期間中 11日間 下記ダイヤの通り1台5便往復 ○運行主体:伊豆箱根バス(増便) ○運行本数:期間中 3日間 下記ダイヤの通り1台5便往復

	
実施結果	利用者数 1,642 人（令和5年度実績）
その他課題等	
類似事例	
連絡先	伊豆箱根バス(株)三島営業所 電話 055-977-3874 湯河原町役場 観光課 電話 0465-63-2111 内線 713~715
備考	湯河原温泉公式観光サイト(さつきの郷) https://www.yugawara.or.jp/sightseeing/679/

[1 - A - 1 8] サイクルアンドバスライド

分類	TDM(交通需要マネジメント)		
細分類	パークアンドライド		
実施主体	愛川町		
実施時期 (期間)	平成 19 年度～(継続中)		
対象地域	町内4箇所		
実施段階	本格実施		
実施目的	バス停周辺に自転車駐輪場を設けることでバス利用者の利便性向上とともに、バスの利用促進を図るもの。 併せて、自家用車からバスへの利用転換による交通量の縮減や、それに伴うバスの走行性向上など、交通環境等の改善を目的とする。		
コスト及び 財源	平成 19 年度から4箇所を整備(全て一般財源)		
実施概要	サイクルアンドバスライド駐輪場設置状況		
	バス停名 (設置位置)	用地	駐輪台数
	一本松 (中津交番北側)	町有地	約 20 台
	半原 (レインボープラザ駐車場内)	町有地	約 25 台
	愛川バスセンター (バスセンター内)	民間用地 (土地賃貸借契約)	約 20 台
中津 (バス停南東側)	町有地	約 10 台	平成 25 年度
※各駐輪場、使用料及び使用登録は不要。			
【整備内容】 原則として簡易工事(区画線・柵等の設置)とし、サイクルアンドバスライド駐輪場の案内看板を設置する。 ・H19: 一本松及び半原バス停留所に駐輪場区画及び案内看板を設置 ・H20: 愛川バスセンター内に町道改良工事と合わせて駐輪場区画及び案内看板を設置 ・H25: 中津バス停留所のバスベイ整備と併せて駐輪場区画及び案内看板を設置 ・H28: 愛川バスセンター内駐輪場に利便性向上を目的として上屋及び車止めを整備			
実施結果	○一本松と愛川バスセンターのサイクルアンドバスライド駐輪場は、駐輪容量の8～9割の利用がある。 ○一方、半原や中津の駐輪場は、まだ駐輪の余地があることから、更なる周知をすることで、利用者の増を図ることが可能と見込まれる。		
その他 課題等	新たな用地の選定及び確保、整備に当たっての各種調整が課題となっている。		
類似事例			
連絡先	愛川町総務部政策秘書課 電話: 046-285-6924(直通)		
備考			